

1 競技名	軟式野球	ソフトボール	バレーボール
2 参加資格			
①	各府県軟式野球連盟にチーム登録をしていること	日本ソフトボール協会に団体・個人登録していること	JVA-MRSにチーム登録・個人登録されており、団体(チーム)として規約があること。また、募集要項やホームページ等で公募していること
②	各府県中体連軟式野球専門部細則を遵守していること	各府県の参加資格を満たしていること	所在地が明確であり、年間を通じて、日常持続的(週単位)に練習している場所と所在地が一致していること
③	指導者は、次のいずれかの資格を有すること。 ①日本スポーツ協会公認コーチ1(軟式野球) ②日本スポーツ協会公認コーチ3(軟式野球) ③BFJ公認野球指導者基礎Ⅰ(U-15) ※ 監督の保有を必須とするが、コーチでも可		日本スポーツ協会公認指導者資格を有する者が指導にあっていること。(但し、令和7年3月31日までは資格取得期間とする)
④			各種大会に大会役員(競技役員)として派遣できる指導者がいること
3 参加規定			
① 1チーム登録選手数	団体	18名以内	18名
	個人		
② チーム構成	選手・監督・コーチ(2名以内)・選手18名で構成されたチームであること	監督・コーチ・選手18名	監督・コーチ・マネージャー・選手12名
③ その他			スタッフの服装は統一すること(ハーフパンツ・短パン等不可)
			監督・コーチ・マネージャーは、既定のマーク(ワッペン)を左胸につける
4 参加制限			
① 種目参加人数	団体	18名	
	個人		
② 一人あたり参加種目数			
③ 試合成立選手数	9名	9名	6名
④ ユニフォーム	監督・コーチ・選手は、統一したものを着用すること(帽子・ユニフォーム・スパイク)	チームで統一されたもの(日本中体連ソフトボール部で認められたもの)	色及びデザインは、チームで統一されなければならない。
⑤ その他			その他 詳細については、日本中体連バレーボール競技部 ユニフォーム規定に準ずる
5 注意事項			
		(公財)日本中体連ソフトボール部申し合わせ事項を遵守すること	

1 競技名		バスケットボール	サッカー	ハンドボール
2 参加資格				
①		(公財)日本中体連バスケットボール競技部細則を満たし、かつ府県中体連の基準を満たして登録しているチームであること	地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)は、(運営団体・母体となるクラブ)としてクラブユース連盟へ登録していないこと	チーム・個人が日本ハンドボール協会に登録していること。各大会および予選大会への参加申込時にはチーム・選手とも登録が完了していること。2重登録は認めない
②		府県中体連に出場を認められ、予選会を勝ち抜いたチームであること	(公財)日本サッカー協会へのチーム登録をしていること	日本ハンドボール協会が主催する全国クラブ大会および予選大会(地区大会含む)に参加した場合は、中体連主催大会への出場は認めない
③			各府県の予選会に出場し、各府県代表となったチームであること	
④				
3 参加規定				
① 1チーム登録選手数	団体 ----- 個人	15名	18名	15名以内
② チーム構成		引率責任者、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャー、選手15名	選手18名 チームスタッフは最大4名(可能性あり)	監督、役員、選手15名以内
③ その他				上記人数以外でトレーナーは、事前に登録のうえ、ベンチ入り可。ベンチからの指示はできない
4 参加制限				
① 種目参加人数	団体 ----- 個人			
② 一人あたり参加種目数				
③ 試合成立選手数		6名	7名	5名
④ ユニフォーム		同一チームに所属する全てのチームメンバーは、同じデザインのユニフォームを着用。 淡色、濃色の2種類のユニフォームが必要	フィールドプレイヤー正副2種類、 ゴールキーパー正副2種類	日本ハンドボール協会ユニフォーム規定に準ずる
⑤ その他		その他デザイン等詳細やユニフォーム番号は、(公財)日本バ協ユニフォーム規則に準ずる		
5 注意事項				

1 競技名		ソフトテニス	卓球	バドミントン
2 参加資格				
①		各府県中体連および各府県ソフトテニス連盟に団体登録されていること	指導者は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(卓球)を取得していること	日本バドミントン協会、各府県バドミントン協会に登録していること
②		地域クラブ活動には、必ず(公財)日本スポーツ協会公認の「コーチ1」以上の資格を有する者が在籍しており、大会においてベンチ入りするものはその資格保有者であること。(ただし、令和6年度は取得中の者でも可とする)	日本卓球協会、各府県卓球連盟、各府県中体連が定めた団体登録手続きを期間内に行うこと。	所属する地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)が、府県中体連が定めた団体登録手続きを行っていること
③			構成員は、代表者・指導者・所属中学生とし、他の地域スポーツ団体等に重複して登録できない。	1つの活動母体から登録できるのは、1チームのみとする
④				
3 参加規定				
① 1チーム登録選手数	団体 ----- 個人	4名～8名 2名(ダブルス)	6名～8名	5名～7名
② チーム構成			中学生の男子チーム、女子チーム	監督、マネージャーまたはコーチ、選手
③ その他				
4 参加制限				
① 種目参加人数	団体 ----- 個人		各府県男女とも 2チーム	各府県男女とも 2チーム
			各府県男女 8名ずつ	各府県男女とも シングルス3名、ダブルス2組
② 一人あたり参加種目数	団体戦・個人戦重複参加可		団体戦・個人戦重複可	個人戦でシングルスとダブルスを兼ねて出場することはできない
③ 試合成立選手数	団体戦は、4名		団体戦は、6名	団体戦は、5名
④ ユニフォーム	学校指定の体操服(半袖・短パン)または公認メーカーのユニフォーム		卓球協会公認ユニフォーム	競技中の色付き着衣は、日本バドミントン協会審査合格品とする
⑤ その他				
5 注意事項				
		【補則】本細則に加えて、各府県で細則を付け加えることができる	団体戦は地域移行した地域スポーツ団体等のみ参加可能。 個人戦は、参加資格の条件を満たした地域スポーツ団体の参加を認める。	指導者は、日本バドミントン協会公認審判資格(3級以上)を取得していること。(未取得の場合は、審判講習会に参加すること) 令和8年度からは日本スポーツ協会公認指導者資格所有者が最低1名所属していること

1 競技名	陸上競技	水泳競技	剣道
2 参加資格			
①	団体が組織として確立していること	(公財)日本水泳連盟へ団体登録が完了していること。また、同じ内容で都道府県中体連に登録していること。	各府県剣道連盟に団体加盟、継続登録していること
②	日本陸上競技連盟に登録(団体・個人)していること。また、各府県中体連へも登録していること		各府県予選会に参加して、予選を通過していること
③	所属学校と所属地域クラブ等の都道府県が異なる場合は出場できない。		
④			
3 参加規定			
① 1チーム登録選手数	団体 ----- 個人		7名
② チーム構成			先鋒、次鋒、中堅、副将、大将の5名と補員2名
③ その他		地域スポーツ団体等で全国中学校水泳競技大会につながる予選大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様。  全国大会につながる予選大会の申込締切から本大会終了まで出場団体の変更はできない	
4 参加制限			
① 種目参加人数	団体 ----- 個人	リレー・メドレーリレーは 1団体 男女各1チーム	5名
	各府県1種目3名以内 1チーム2名以内	1団体1種目3名以内(全中の制限にあわせて撤廃する可能性がある)(但し、リレーは除く)	
② 一人あたり参加種目数	1人1種目(リレーは除く)	1人2種目以内	団体戦と個人戦の重複参加可
③ 試合成立選手数			団体戦3名
④ ユニフォーム		出場団体以外の所属を表すユニフォームや水着、キャップなどは競技中着用禁止	全国中学校剣道大会・競技規則・特別規程に準ずる
⑤ その他	在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録をしている地域クラブ活動の所属のいずれかで参加できる。いずれの場合も在籍している学校が所属する府県より参加する。 リレーは、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」 「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」 または登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。  複数の種目(リレー含む)に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。  リレーは共通と低学年の両種目には出場できない  学年種目は、当該学年の生徒に限る。共通種目は、全学年の生徒が出場できる		
5 注意事項			
	各府県ナンバーカードは、 (大阪)101～ ・ (兵庫)201～ (和歌山)301～ ・ (奈良)401～ (京都)501～ ・ (滋賀)601		全国中学校剣道大会要項に準ずる

1 競技名	柔道	相撲	体操競技
<b>2 参加資格</b>			
①	全日本柔道連盟が定めた令和5年度期間内に、各府県柔道連盟を通して全柔連に加盟・登録を済ませていること	日本相撲連盟に登録し、かつ同じ内容で各府県中体連に登録していること。	予選大会への参加は、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の各府県中体連登録住所、および府県体操協会加盟住所からの参加を認める。
②	団体戦に出場希望する場合は、チーム団体登録を、個人戦に出場希望する場合は、競技者登録が必要		団体での参加の場合は、団体選手全員が「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっているクラブ活動」または同一学校に在籍していること
③	引率・監督・帯同コーチは、全柔連公認指導者資格を有すること		
④			
<b>3 参加規定</b>			
① 1チーム登録選手数	団体 ----- 個人	男子7名、女子4名 ----- 7名	3～6名まで
② チーム構成		先鋒、二陣、中堅、副将、大将の5名と2名の補欠（交代選手）	監督・選手（・コーチもしくはテクニカルアドバイザー）
③ その他			地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）として、中体連主催大会に参加する場合、当該生徒の所属校長に地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）から大会参加する旨の報告をすること
<b>4 参加制限</b>			
① 種目参加人数	団体 ----- 個人	各府県4枠（最大3校+1チーム） ----- 各府県8名	各府県男女各2チーム ----- 各府県男女各4名
② 一人あたり参加種目数		団体と個人戦の重複参加可	男子4種目（ゆか・あん馬・跳馬・鉄棒） 女子4種目（跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか）
③ 試合成立選手数	男子3名、女子2名	団体戦3名	団体戦3名
④ ユニフォーム	所属のゼッケンを柔道衣の背中につける	廻し、ゼッケン	（公財）日本体操協会制定 採点規則による
⑤ その他			出場枠が複数与えられている場合、少なくとも1枠は学校登録団体とする  オープン参加（競技部規定による）の選手は、あん馬・段違い平行棒の演技をしてはならない
<b>5 注意事項</b>			
	引率、監督権を有している地域クラブ活動の指導者は、大会参加にあたり、各府県中体連が主催する説明会や研修会等に必ず出席しなければならない		

1 競技名		新体操	テニス	ホッケー
2 参加資格				
①		府県体操協会に加盟、各府県中体連に登録していること		日本ホッケー協会へチーム登録をしていること
②		監督及び選手は、一人につき一所属とする		各府県中体連に参加を認められた生徒であること
③		令和6年度の地域スポーツ団体等の団体競技参加については、全員が「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域移行クラブ活動」または同一学校に在籍していること		監督・コーチのいずれかは日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格コーチ3以上を有していること
④				
3 参加規定				
① 1チーム登録選手数	団体	8名		12名
	個人			
② チーム構成		正選手5名		監督、コーチ、手当をする者2名、選手12名以内
③ その他				各府県男子3チーム、女子2チーム。但し、男子10チーム、女子6チームに満たない場合は、近畿専門委員長会で決定する。
4 参加制限				
① 種目参加人数	団体	各府県2チーム		各府県男子3チーム、女子2チーム
	個人	3名		
② 一人あたり参加種目数				
③ 試合成立選手数				6名
④ ユニフォーム				必ず2着用意し、試合会場に持参すること。 1～12の番号をユニフォームの定められた場所に明示すること
⑤ その他		団体戦と個人戦は兼ねることができる。ただし、同一所属からの参加に限る		
5 注意事項				
		全国大会予選通過について、個人は与えられた規定数で順位通り（令6は6名） 団体は、通過枠の1/2は学校登録団体に与える（奇数の場合は切り上げる）		

1 競技名		ラグビーフットボール	駅伝競走	スキー
2 参加資格				
①		日本ラグビーフットボール協会にチーム登録、選手登録をしていること	日本陸上競技連盟に登録（団体・個人）していること。また、各府県中体連へも登録していること	各府県スキー連盟、各府県中体連に登録していること
②				各府県予選会に参加して、予選を通過していること
③				
④				
3 参加規定				
① 1チーム登録選手数	団体	12名以上		
	個人			
② チーム構成				
③ その他				
4 参加制限				
① 種目参加人数	団体			
	個人			
② 一人あたり参加種目数				
③ 試合成立選手数		12名		
④ ユニフォーム		チームで統一されたもの		
⑤ その他			<p>在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録している地域クラブ活動の所属のいずれかで参加できる。</p> <p>いずれの場合も在籍している学校が所在する府県より参加する。</p> <p>「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」または、登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。なお、複数の所属から出場することはできない</p>	
5 注意事項				